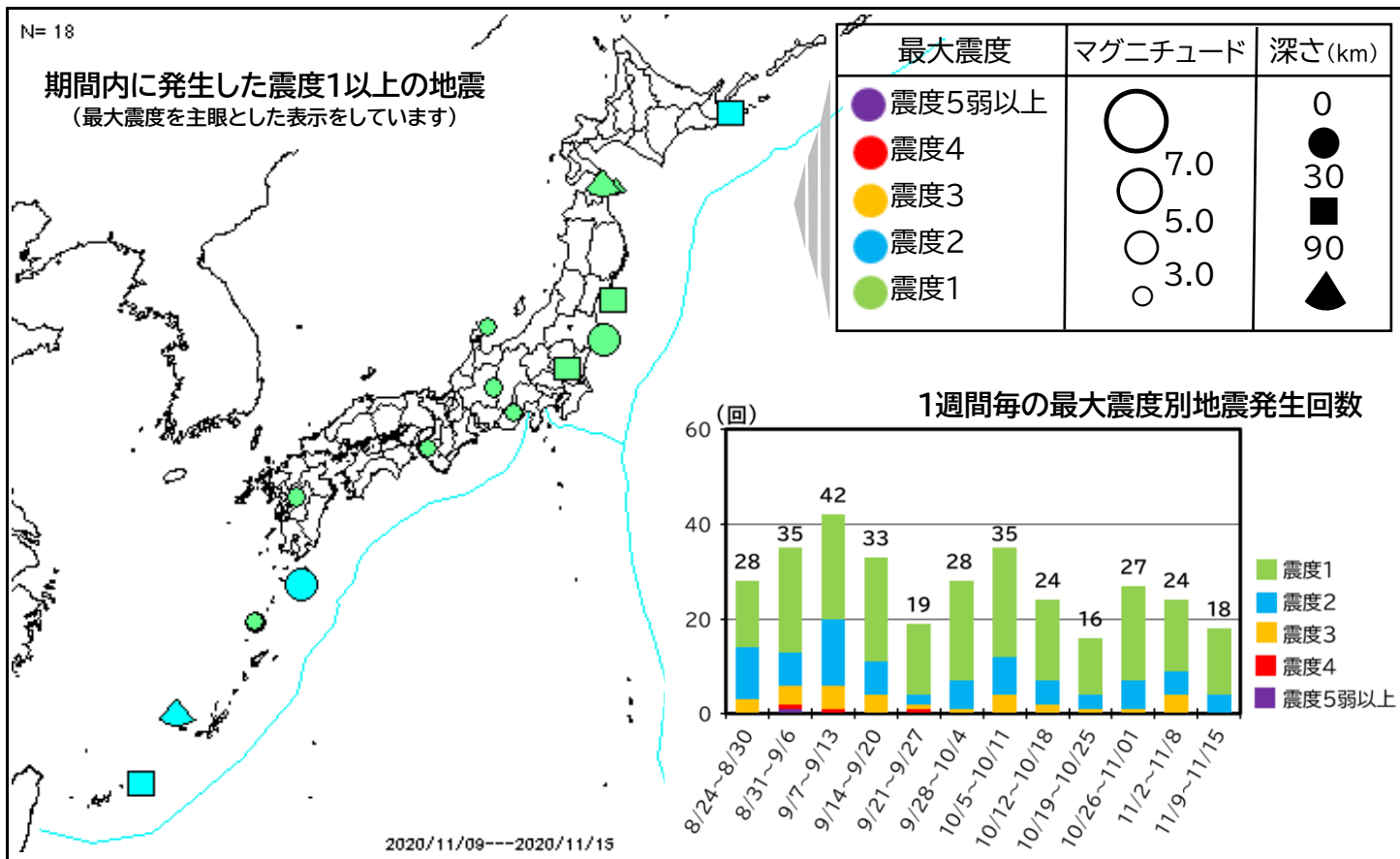


この期間の最大震度は2

本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典:気象庁震度データベース/地震情報)



主な地震の発生状況

- この期間、震度1以上の地震が18回発生。最大震度は2■
- ・震度3以上の地震がなかったのは8月10日以来でした。また、震度1以上も18回と少なく穏やかな期間でした。

トピックス

■ 伊豆大島全島避難 ■ (この週の日が発生した過去の被害地震など)

本トピックスでは主に地震に関することを取り上げていますが、今回は火山に関するトピックスです。

- ・1986(S61)年11月21日16時15分頃、伊豆大島の三原山で大噴火が発生しました。
- ・11月15日から山頂火口で発生していた噴火は、21日午後から激しい地震活動が始まり、夕方には外輪山外側で割れ目噴火となりました。
- ・流れ出た溶岩の一部は島の中心部にまで迫ったことから、大島町合同対策本部は、同日夜、全島民1万800人と観光客ら計1万3千人に島外への避難命令を発令しました。
- ・ほぼ全ての住民が22日未明までにフェリーなどで島を脱出し、多くの住民が都内の避難所で約1カ月間にわたって避難生活を送りました。噴火による犠牲者は一人もいませんでした。
- ・1986年のような規模の噴火は、近年では1912、1950年、1986年に発生しており、その間隔は36~38年です。またそれらの間に20回以上の小規模噴火が発生しています(出典:気象庁)。
- ・大島町では、次の噴火に備え、島外避難も視野に入れた避難計画を整備。小中学校でも定期的に避難訓練を続けています。東京都や大島町では各家庭に防災無線が聞ける端末を整備したり、住宅地を溶岩流が直撃するように溶岩の流れを変えるよう巨大な堤防を設置したりして、次の噴火に対しての備えを進めています。
- ・火山は、温泉や景観など、私たちに多くの恵みを与えてくれています。一方、ひとたび噴火すると、大きな災害をもたらします。火山に登る際には火山に対する正しい知識を持つことが重要です。
- ・下記の気象庁HPで火山登山者向けに、個々の火山毎に、気象庁が発表している火山情報等をご覧いただけます。
https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/activity_info/map_0.html



(出典:気象庁)